

令和3年度

かみたかの

幸手市立上高野小学校

職業に触れる体験

第5学年

鋳物文鎮づくり



置畳づくり



石の彫刻づくり



銅板表札づくり

タイルコースター



ミニアレンジメント



巣箱型貯金箱づくり



だるまペイント



特色

- 埼玉県技能士連合会の皆様の協力のもと、子どもたちが技能士の優れた技能に触れ、指導を通して、様々なものづくりを体験することで、ものづくりの喜びや感動、さらには技能の重要性とすばらしさを体験してもらうことを目的として実施した。
- 5年生の「総合的な学習の時間」のテーマ「日本の伝統文化に親しもう」の学習に、この体験活動を位置付けることで、児童の学習が深まることをねらいとしている。

児童生徒の感想

- 埼玉県の伝統文化のことをたくさん知ることができた。機会があれば、他のものづくり体験もぜひ体験したい。
- 物をつくるときには、あげる人・もらう人の気持ちを考えて作ることが大切ということを知ることができた。

成果

- 子どもたちは体験活動を通して、様々な伝統文化に触れ、それらに深く親しむことが出来た。
- ものづくりの喜びや感動、受け継がれた技術の素晴らしさを直に味わい、キャリア教育の面でも貴重な学習となった。